

バフマスター

WM - 30

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解された上でご使用ください。
この取扱説明書は、作業中はいつも手元においてご使用ください。
本製品は弊社品質基準に合格しておりますが、輸送途上などに製品にキズや変形が生じる場合があります。
ご使用の際には、必ず事前に点検してください。

安全上のご注意



警告 (人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。)

作業中は目の保護のため安全保護メガネ、粉塵対策のため防塵マスクなどを着用してください。作業により発生する切り粉・粉じんなどによって思わぬ損害を負う可能性があります。また、だぶだぶの服や宝石等を着用せず、長髪の方は髪を後ろで結んでください。

煙が出ている・変な臭いや音がするなどの異常が発生した場合、すぐにメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、修理を依頼してください。異常な状態を放置したまま使用すると火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜く時は、コードを持たずに電源プラグを持って引き抜いてください。火災・感電の原因となります。

絶対に分解・修理・改造をしないでください。性能・安全などに重大な影響を及ぼしたり、また故障・火災・感電の原因となります。

必ずアースしてから適正電圧(100V 50 / 60Hz)でご使用ください。適正電圧以外での使用は火災・感電・故障の原因となります。

電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードが劣化した場合、正常なコードに変換してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意 (人が損害を負ったり、製品が故障する可能性がある内容を示しています。)

回転が止まってしまう程の強い負荷を与えないでください。また長時間の使用はしないでください。長時間連続使用したり、大きな負荷を掛けて使用すると、内部のモーターの発熱・焼き付き・火災等の原因となります。湿気の多い場所(風呂場など)及び腐食性のガスや化学薬品のある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

結露の発生しない状態で使用してください。結露した状態で使用すると火災・感電の原因となります。

本体や主軸部分などに注水や注油はしないでください。故障の原因となります。

子供には絶対に操作させないでください。また、子供の手の届く場所には保管しないでください。

砥石は使用しないでください。本機は砥石の使用には適していません。

バフがけ時の埃等の飛散を防ぐ目的で、本機を段ボール箱や木箱に入れて使用しないでください。箱の中に熱がこもり、大変危険です。

本機のコードが回転中のバフに接触しないようにしてください。コードの被膜が削り取られてショートし、火災の原因となります。

作業場を離れる場合は、安全のためメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。感電や火災の恐れがあります。

1. 本製品の用途

- ①バフ・毛ブラシ類専用のグラインダーです。
- ②中速回転を利用した下地作りや中仕上げ、高速回転を利用した仕上げ作業と、作業に合わせて調整が行えます。

2. 仕様 （仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。）

消費電力 : AC 100V

回転数 : 50Hz / 60Hz 0～7000r.p.m (可変速)

外形寸法 : 152 (W) × 130 (D) × 132 (H) mm

重量 : 3.3kg

シャフト長 : 190mm

3. 標準付属品

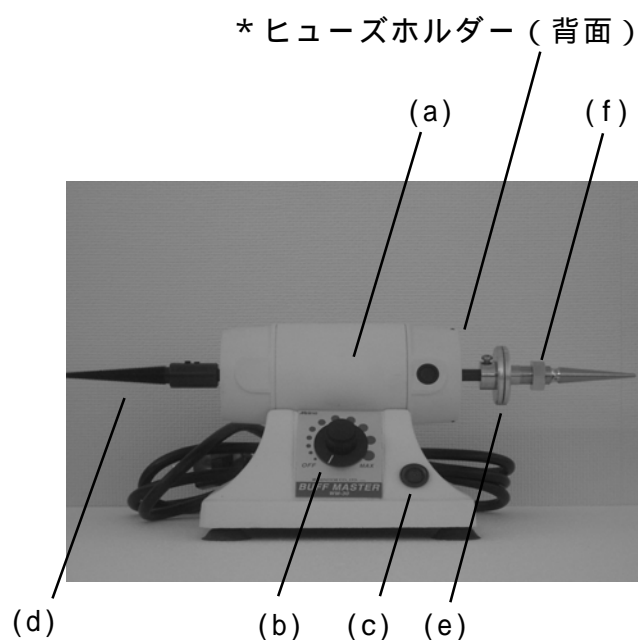
- タケノコ軸L (左側用) WM-302
- タケノコ付フランジ (右側用) WM-101
- カーボンブラシ WM-30-BRUSHES
- ヒューズ WM-30-FUSE

[付属品の種類は、予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。]

*ホイール類は各種用意しています。詳しくはミニモ総合カタログをご覧ください。

4．各部の名称

- (a) 本体
- (b) スイッチ付速度調節ツマミ
- (c) 電源ランプ
- (d) タケノコ軸 L (左側用)
- (e) タケノコ付フランジ (右側用)
- (f) ナット



5．ご使用前に

回転が止まってしまう程の強い負荷を与えないでください。また長時間の使用はしないでください。長時間連続使用したり、大きな負荷をかけて使用すると、内部のモーターの発熱・焼き付き・火災等の原因となります。

作業中は目の保護のため安全保護メガネ、粉塵対策のため防塵マスクを着用してください。また、だぶだぶの服や宝石等を着用せず、長髪の方は髪を後ろで結んでください。

お子様の手の届かない場所に設置してください。また、作業安定のため吸着盤を備え付けておりますが、さらに安定を図るのであればボルトやネジで机の上に固定してください。

砥石は使用しないでください。本製品は砥石の使用には適していません。

バフがけ時の埃の飛散を防ぐ目的等で、本製品を段ボール箱や木箱に入れて使用しないでください。

本製品のコードが回転中のバフに接触しないようにしてください。コードの被膜が削り取られてショートし、火災の原因になります。

使用しないときは、必ずスイッチを切ってください。モーター過熱の原因となり危険です。

1度モーターの回転をテストして、軸の芯ブレや、異常音がないかを確認してください。

負荷のかけすぎ又は長時間使用で本体が発熱した場合は、ただちに使用を中止し熱が下がるまで放置してください。

6 . 使用方法

本製品を水平で安定している場所に、確実に固定してください。
スイッチ (b) が「OFF」になっている事を確認してください。
使用するホイールを左右の取り付け軸に取り付けます。

1 使用するホイールを左側に取り付ける場合

取り付け軸にタケノコ軸 L (d) を奥まで差し込み、しっかりとネジを締めてください。ホイールの穴径は 12.7 mm 以下です。

本体 (a) の電源プラグをコンセント (家庭用 A . C . 100 V) に差し込んで、スイッチ (b) を「ON」にします。

モーターがゆっくり回転している状態でホイールをしっかり持ち、タケノコ軸 L (d) の先端に当てます。

ホイールはモーターの回転で、自然とねじ込まれます。

固くねじ込まれた状態でご使用ください。

2 使用するホイールを右側に取り付ける場合

取り付け軸にタケノコ付フランジ (e) を奥まで差し込み、しっかりとネジを締めてください。穴径 12.7 mm のホイール専用です。(フランジ使用時)

モーターが停止している状態で、穴径 12.7 mm のホイールの両側をフランジ (e) ではさんでからナット (f) でしっかり固定します。

本体 (a) の電源プラグをコンセント (家庭用 A . C . 100 V) に差し込んで、スイッチ (b) を「ON」にします。

ホイールを軸に取り付けた後、危険防止のため必ずそのまま 2 ~ 3 分試験運転を行ってください。試験運転の間に不具合があれば、もう一度 からやり直してください。異常が無ければ、作業を開始してください。

本製品は、同じサイズの工具で表面速度 (S F P M) を調節することができます。

研磨を目的の際は、1,750 ~ 3,450 S F P M で、バフ仕上げの際は、3,450 S F P M 以上で作業してください。S F P M をは、下記の表でご確認ください。

回転数	バフ径と表面速度 (S F P M)		
	50 mm	75 mm	100 mm
7,000 RPM	3,500	5,250	7,000
4,000 RPM	2,000	3,000	4,000

作業が終わりましたら、電源スイッチ (b) を「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

7 . 使用上の注意

ソケットやバフの交換は、電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。誤って速度調節ツマミに触れて不意にモーターが回転する恐れがあるので、この状態でのソケット・バフ交換は絶対にしないでください。

本製品の最高回転数は7,000rpmです。低速回転用の軸と工具は使用しないでください。工具に異常な振れ、振動等がないか確認してください。異常がある工具は使用しないでください。故障の原因や、安全面に重大な影響を及ぼします。

ご使用前に工具を付けない状態で低速で運転し、異常がないか確認してください。

ソケットには、「右ネジ」と「左ネジ」のものが 있습니다。タケノコ軸L（左側用）には、「L」のマークが表記されています。誤って反対側に取り付けると工具が外れる恐れがあり、非常に危険です。絶対に間違えないように取り付けてください。

側面から過剰な力をかけないでください。側面からの過剰な力は軸や工具が壊れる原因となります。

ヒューズの交換は、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。コンセントに差し込んだ状態だと感電する恐れがあります。交換の際は、必ず指定のヒューズをご使用ください。使用するヒューズは6.35×31.8mm、3Aです。

ヒューズホルダーは本製品の後側にあります。ヒューズが飛んだ場合、オーバーロードがかからなくなり、モーターの回転を制御することができなくなります。

本製品で使用できるバフは、バフ径が100mm以下のものです。これより大きいバフを使用すると事故の起こる恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

なお、タケノコ部に装着したバフには強い圧力でのバフがけ作業は絶対にしないでください。

アースしてからご使用ください。本体の電源コードは3Pプラグとなっています。3Pのコンセントを直接使用出来るところは、そのまま1線はアースされます。

8 . 保守点検

ご自分で、分解・修理・改造は絶対にしないでください。不用意にネジを緩めると内部に狂いが生じて異音・振動・故障の原因となります。また異常作動してケガをすることがあります。

動かなくなったり、温度が異常に高くなったり、異常な音がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いてください。感電やショートなどによる火災の恐れがあります。お買い求めの販売店、または弊社に、必ず点検・修理を依頼してください。

本体や軸受部分などに注水や注油はしないでください。故障の原因となります。

三二勺株式会社

本社 〒130-0026 東京都墨田区両国3-21-1 ☎03-6630-5800 FAX 03-6630-5795
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町2-4-2 ☎06-6531-5300 FAX 06-6531-5417
名古屋営業所 〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-15 ☎052-331-5222 FAX 052-331-5223

2020.07.01 IMJ-WM30